

autumn film/上原裕之

w/m : 上原裕之

< 曲紹介 >

人生を四季に例えるなら、「ぼちぼち秋に
差し掛かってきたなあ」と。

曲の終盤は前向きな詞にしようと思ってました。

春は寝て 夏は捨て 秋恋しく 冬籠もり
季節外れのままの僕の服はヨレヨレで

昔は良かったなんて口にしてみても
誰も傷つかないから いいんでないの？
今じゃ 口を尖らせて ああ素敵な音で
口笛を吹いていられりゃいいのに ねえ

キレイな涙にも 不意に出会ってしまう
気の利いた言葉 持ってないよ
あの時なんて言ってあげればよかったの？
ねえ なんて

ギターの上に積もる 埃を払ったなら
呼吸するように歌いたいんだ
まだ弾けるかな

線引き出来ないことばっか 多すぎて
気持ちの良い事ばかりじゃ生きられない

限りあるから愛しい
そうね 順番待っているだけじゃ
何もつかめないかもね

彩づいてく季節 フィルムに残そう
美しいものは そのままに
つまづいてた日々は もう あんなに遠く
陽炎のよう 陽炎のよう、、、